

# 甲南中学生が 災害図上訓練(DIG)に挑戦

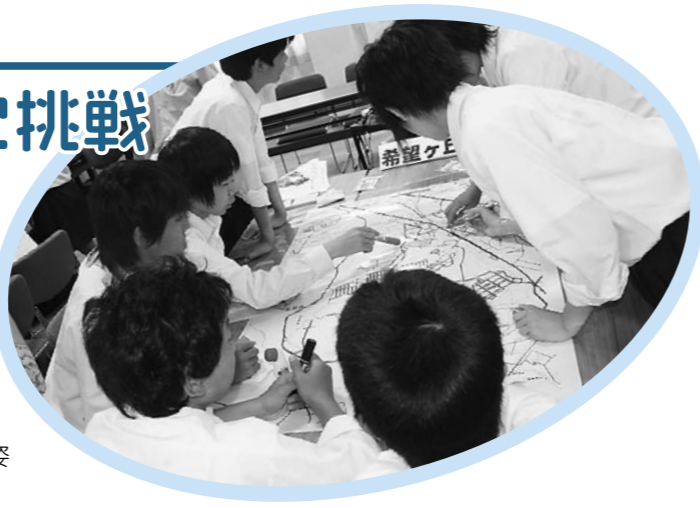
※1

6月14日(水)、県内初めてとなる、災害図上訓練が甲南中学校の3年生選択授業で行われました。

大災害が発生した場合、消防や警察、行政機関がすぐには駆けつけることができないことがあり、その時、地域の人々が協力し合って救助活動、消火活動、避難所運営などを行う「互助」が大変重要です。そのためには、まず、地域の住民が自分たちのまちの災害時の姿を知ることが必要です。

災害図上訓練(DIG)は、防災設備や危険箇所などを地図に書き込むことで、自分たちのまちの災害に強いところ、弱いところや、防災時にすべきことなどを身近なものとして理解することができる、防災意識を高めるのに有効な手法です。

授業を受けた生徒は、ため池が多く消火に役立つことや公衆電話が少ないことなどを発見し、改めて地域の状況がわかったようです。今後、防災啓発の一つとしてDIGを区や自治会でも取り組んでいただければと思います。



危険な場所などを図面で確認する生徒たち

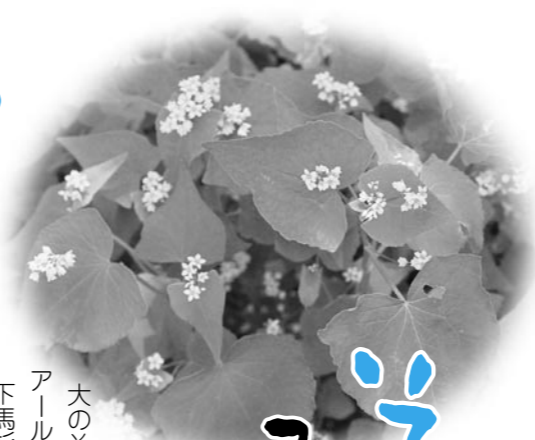
※1

災害図上訓練(DIG)ディグとは  
D……Disaster(災害)  
I……Imagination(想像力)  
G……Game(ゲーム)



景観作物としての役割もあるそばの花

そば粉を打つ岩田さん



## そば で地域の活性化を

まちかど特派員 上西 定雄

大のそば好きが高じて3年前程に、自宅の転作田に3アールのそばの種を蒔いて、そばを栽培された甲南町下馬杉にお住まいの岩田徹さん。初めて打ったそばが隣人や知人の好評を得たことから、定年退職を機に本格的に栽培するようになり、地元「下馬杉そば」として、ギャラリーのイベントなどに、ざるそばを安く提供されています。

この地域では、今まで土地条件の悪さから、転作作物がうまく育たず、次第に地域そば栽培が活発になり、現在では8軒、9軒と栽培仲間が増えるとともに、耕地も約280アールまでになりました。

またそばの花は大変きれいで、景観にも良いことから景観作物としても期待されています。現在では地域が一体となって、そば以外にも、そば粉を使ったそば大福や、そばようかん、ケーキやクッキーなども作り、年1〜2回公民館で展示販売され、来られた人たちも「転作そばの振興で、下馬杉そばの名が広がり、地域の活性化のためにも、そばの栽培を増やしていきたい」と語りつづけておられました。

地域の農業が、水稲田を中心とした耕地として、転作田の活用が活発に図られています。

# 鮎河小学校の児童が 鮎の放流を体験

を放流

6月5日(月)鮎河小学校の児童が鮎の放流を体験しました。これは土山漁業協同組合の方々が川や魚などの自然に親しむことを目的に毎年土山町内にある4つの小学校の児童に体験してもらっているものです。

参加したのは鮎河小学校の全校生徒36名、土山漁業協同組合の方々により準備された鮎の稚魚約4,000匹が学校近くの川へ放流されました。

河川敷に集まった児童たちは同組合長山本光雄さんから『鮎河』の地名の由来や、放流の方法を聞いた後、鮎をバケツに入れてもらいました。

児童たちは「早く大きくなってね。」と大きな声で言いながら放流すると鮎は気持ち良さそうに元気に川を泳いでいきました。



早く大きくなってね

鮎を放流する鮎河小学校の児童たち



元近鉄梨田監督から指導を受ける児童たち

6月11日(日)ダイヤモンド滋賀で元大阪近鉄バファローズ監督の梨田昌孝さんによる少年野球教室が行われました。この日は梨田さんをはじめ同投手であった佐々木修さんが市内のスポーツ少年団から集まった約80名の指導に当たりました。教室ではボールの握り方、投げ方、バッティングフォームなどの実技指導や、練習と試合での気持ちの持ち方などを教わりました。梨田監督からのアドバイスを参加した児童たちは熱心に聞いていました。教室の最後に行われた全員ジャンケン大会では各プロ野球チームの帽子や、清原選手のサイン色紙などがプレゼントされ、みんな楽しく野球を学べた一日となったようです。この教室で学んだことをこれからの練習や試合で活かし、未来のプロ野球選手が誕生することを願っています。

## 未来の プロ野球選手へ 少年野球教室

元近鉄梨田監督の少年野球教室



大型トラックによる巻き込み事故を見学する児童

今日学んだ交通ルールをこれからも守ることを約束し、交通安全教室は終了しました。

## 交通ルールを 守ってね

柏木小学校の交通安全教室

6月2日(金)甲賀自動車教習所で柏木小学校の1年生37名が交通安全教室に参加しました。

この日は、甲賀警察署交通課の方から県内の交通事故発生状況の説明や、「みんなが道を歩くのはどちら側ですか?」といった質問が出されました。続いて、こ